

2025年3月期 第1四半期（4-6月） 決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード 6358

URL <https://www.sakainet.co.jp>

2024年8月9日

決算短信（サマリー情報）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	6,706	△10.9	449	△18.5	503	△27.2	690	46.3	162.35	—
2024年3月期第1四半期	7,529	9.7	551	22.8	692	34.0	471	17.2	111.33	—

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 1,341百万円（9.6％） 2024年3月期第1四半期 1,223百万円（44.1％）

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2025年3月期第1四半期	44,375		29,677		66.7
2024年3月期	44,237		29,165		65.8

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 29,600百万円 2024年3月期 29,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	90.00	—	195.00	285.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		85.00	—	130.00	215.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	15,500	△7.7	1,050	△46.6	1,050	△50.2	700	△54.4	164.85
通期	33,000	△0.1	2,730	△17.7	2,700	△18.8	1,830	△25.0	430.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

連結業績ハイライト

1. 第1四半期業績の概要

- 1) **連結売上高： 6,706百万円（前年同期比 10.9%減）**
 世界経済が減速する中で建設機械市場も調整期入り
- 2) **営業利益： 449百万円（前年同期比 18.5%減）**
 収益構造改革の進展と円安効果により、原価率が前年同期比3.3%改善したものの
 売上減少と人件費増加により減益
- 3) **四半期純利益： 690百万円（前年同期比 46.3%増）**
 投資有価証券売却益として2億8千万円を計上
- 4) **国内販売： 2,497百万円（前年同期比 10.8%減）**
 国土強靱化加速化対策を背景とした堅調な建設投資が続く中、度重なる価格改定と
 物流と建設の残業上限規制に対して建設機械投資の足踏み状態が継続
- 5) **北米販売： 2,203百万円（前年同期比 4.3%減）**
 インフラ投資法を背景とした高水準の道路建設投資が続いているものの、ディーラ段階に
 おける在庫調整の動きが見られる
- 6) **アジア販売： 1,650百万円（前年同期比 21.1%減）**
 主力のインドネシアやベトナムで需要が停滞

連結業績ハイライト

2. 事業環境変化への対応

1) 資本収益性向上に向けた取組み

(1) 中期経営方針の進捗

5か年中期計画	: 売上高 300億円、営業利益 31億円、ROE 8.0%
前通期実績（第3年度）	: 売上高 330億円、営業利益 33.1億円、ROE 9.0%
当通期業績予想（第4年度）	: 売上高 330億円、営業利益 27.3億円、ROE 6.2%
当第1四半期実績	: 売上高 67億円、営業利益 4.4億円、ROE 9.4%

(2) 企業価値向上の進捗（PBR1倍超え）

2024年 3月末: PBR 0.98倍（株価 6,680円）

2024年 6月末: PBR 0.85倍（株価 5,930円）

2023年4月13日付適時開示「資本収益性の向上に向けた取組状況について」にて取り組み方針を開示

<https://www.sakainet.co.jp/news/item/20230413shihonsyuuekisei.pdf>

2) 価格改定と高付加価値化と効率化による収益構造改革

原価率改善: 69.8%（前年同期比 3.3%改善）

収益構造改革の進展と円安効果

3) 人的資本投資の強化

(1) 賃金改善と雇用安定化: 賃上げ（23年度5.1%、24年度6.0%）

(2) 現場技能者増強と職場環境整備: 工場・サービス現場増強と健全な職場環境づくり。

4) 需要変化対応

棚卸資産回転数: 2.65回転（前年同期比 0.36回転減（12%減））

世界経済が減速する中で建設機械市場も調整期を迎え、適正在庫水準へ調整中

連結業績ハイライト

3. 中長期成長戦略

- 1) **アジア市場深耕** : インドネシア拠点を中核としたASEAN市場拡大（前年同期比 売上高21.1%減）
- 2) **海外事業領域拡大** : 道路維持機械の海外市場展開（インドネシア現地生産開始）
- 3) **北米市場開拓** : ニッチマーケティングによるシェア拡大（前年同期比 売上高4.3%減）
- 4) **次世代事業開発** : 緊急ブレーキ、転圧管理システム、切削管理システムの市場展開。
自律走行式ローラ、E Vローラの研究開発推進中。

4. 事業環境見通し

1) 世界の建設機械市場

日米の大型インフラ投資計画や新興諸国におけるインフラ投資と鉱山開発の活発化、更には老朽化インフラの更新需要や災害対策など、底堅い潜在需要が期待されます。

2) リスクと対応

世界的な景気減速や安全保障問題の緊迫化、急速に進む社会構造変化など、世界経済の行方は予断を許しません。

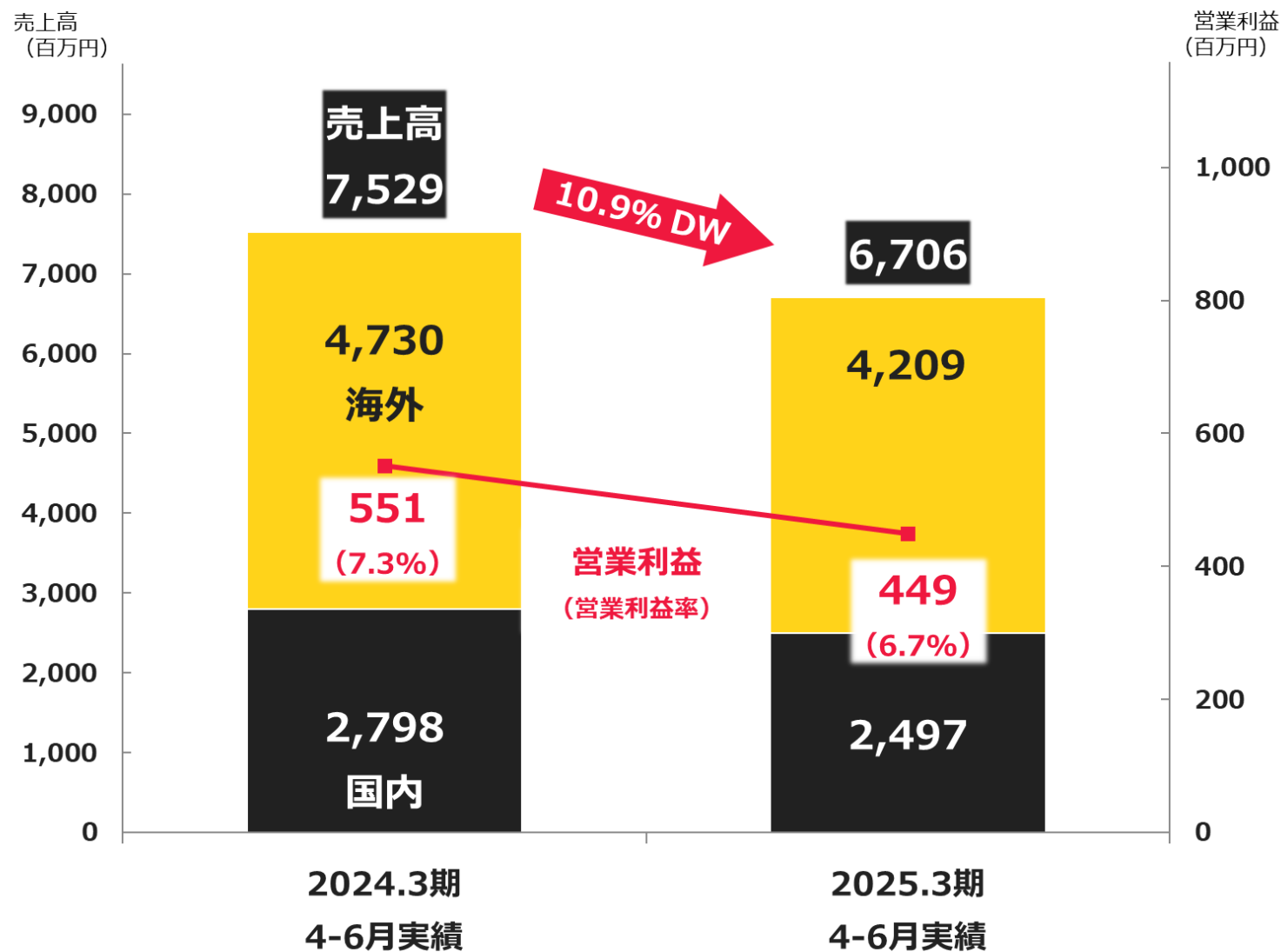
このような時代の変化に適応した経営体質へ転換すべく、「事業環境変化への対応」を進めて参ります。

連結業績

(単位：百万円)

	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,529	6,706	▲ 822	▲ 10.9%
国内	2,798	2,497	▲ 301	▲ 10.8%
海外	4,730	4,209	▲ 521	▲ 11.0%
営業利益 (営業利益率)	551 (7.3%)	449 (6.7%)	▲ 102	▲ 18.5%
経常利益	692	503	▲ 188	▲ 27.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	471	690	218	46.3%
(原価率)	(73.1%)	(69.8%)		

連結業績（グラフ）



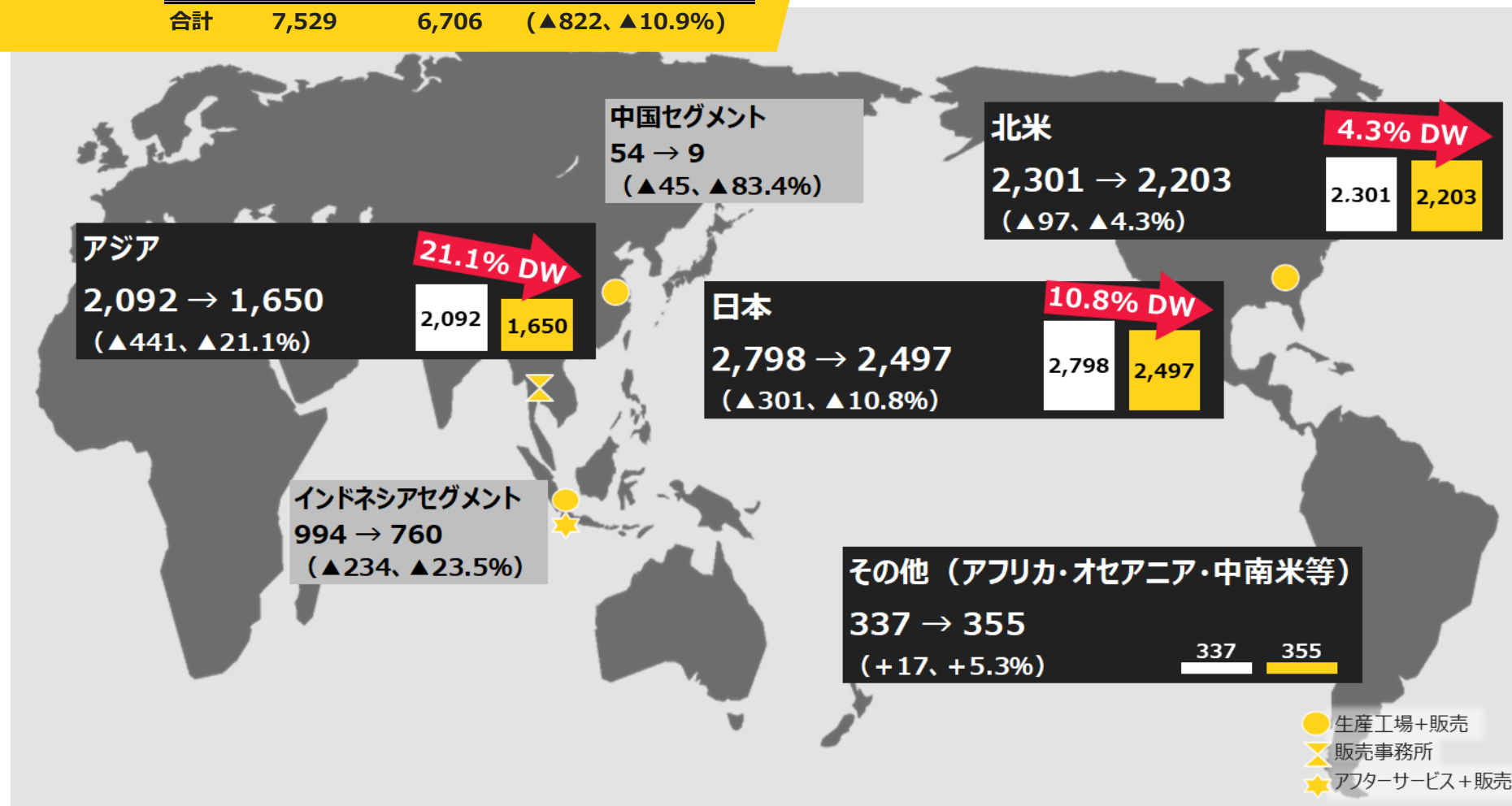
地域区分別売上高（顧客の所在地別に分類）

（単位：百万円）

	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
国 内	2,798	2,497	▲ 301	▲ 10.8%
海 外	4,730	4,209	▲ 521	▲ 11.0%
北米	2,301	2,203	▲ 97	▲ 4.3%
アジア	2,092	1,650	▲ 441	▲ 21.1%
その他	337	355	17	5.3%
合 計	7,529	6,706	▲ 822	▲ 10.9%

地域区分別売上高（地図）

(単位：百万円)	24.3期 4-6月	25.3期 4-6月	前年同期比
国内	2,798	2,497	(▲301、▲10.8%)
海外	4,730	4,209	(▲521、▲11.0%)
合計	7,529	6,706	(▲822、▲10.9%)



所在地別セグメント（当社の生産・販売拠点別に分類）

（単位：百万円）

日 本	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	4,179	3,733	▲ 445	▲10.7%
内部売上高	1,042	1,084	41	4.0%
総売上高	5,221	4,817	▲ 403	▲7.7%
営業利益	121	37	▲ 83	▲69.0%

（単位：百万円）

北 米	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	2,301	2,203	▲ 97	▲4.3%
内部売上高	3	2	▲ 1	▲41.8%
総売上高	2,304	2,205	▲ 99	▲4.3%
営業利益	194	387	192	98.6%

（単位：百万円）

インドネシア	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	994	760	▲ 234	▲23.5%
内部売上高	1,063	747	▲ 316	▲29.7%
総売上高	2,058	1,508	▲ 550	▲26.7%
営業利益	187	79	▲ 107	▲57.5%

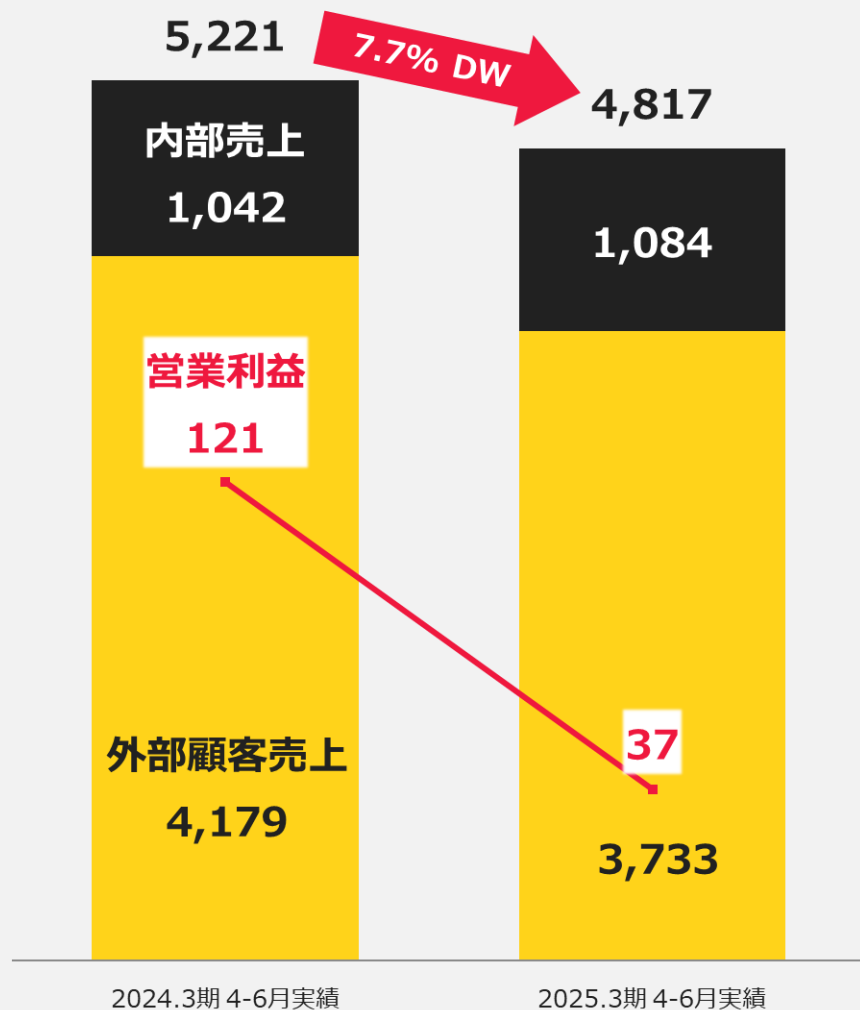
（単位：百万円）

中 国	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	54	9	▲ 45	▲83.4%
内部売上高	344	372	27	8.1%
総売上高	398	381	▲ 17	▲4.4%
営業利益	37	35	▲ 1	▲5.1%

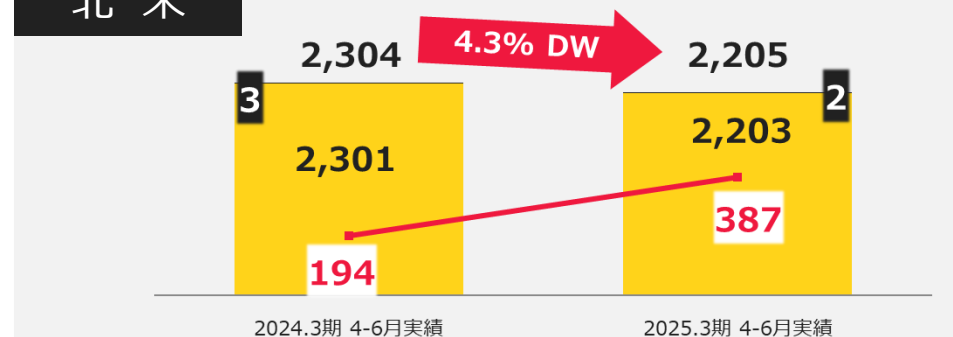
所在地別セグメント（グラフ）

（単位：百万円）

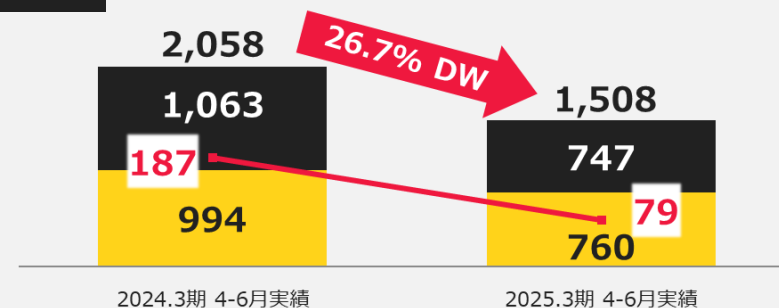
日本



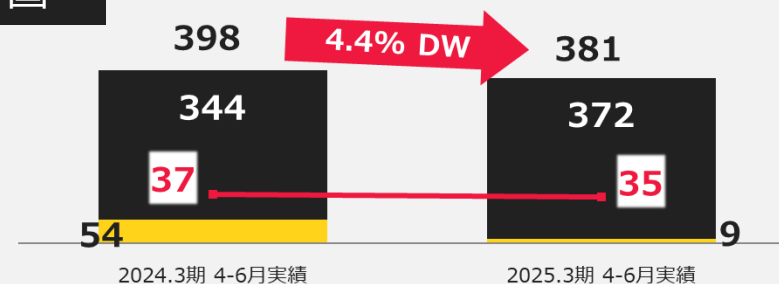
北米



インドネシア



中国



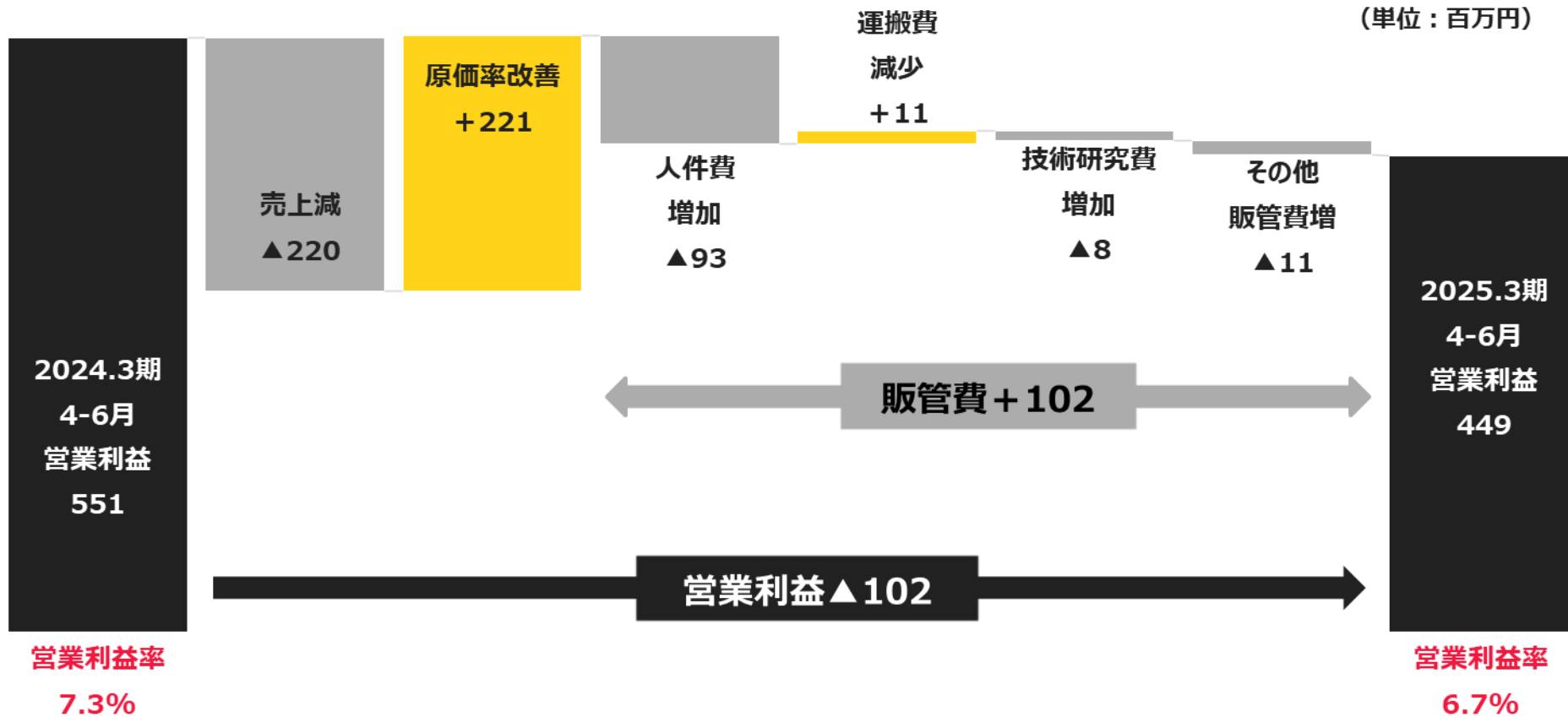
営業利益 増減要因

- 売上高が前年同期比822百万円減少した結果、売上総利益は220百万円の減益
- 収益構造改革の進展と円安効果により、原価率は3.3%改善し、売上総利益は221百万円の増益
- 人的資本投資強化（人件費増）と事業活動活発化に伴い、販管費は102百万円の増加
- 結果として営業利益は、前年同期比102百万円減の449百万円

（単位：百万円）

	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	増減	営業利益への 影響額	備 考
売上高	7,529	6,706	▲ 822	▲ 220	▲822 x (1 - 73.1%)
(原価率)	73.1%	69.8%	▲3.3%	+221	6,706 x ▲3.3%
売上総利益	2,022	2,022	0		
販管費	1,470	1,573	102	▲ 102	人件費+93、運搬費▲11、 技術研究費+8、その他販管費+11
営業利益	551	449		▲ 102	

営業利益 増減要因 (グラフ)

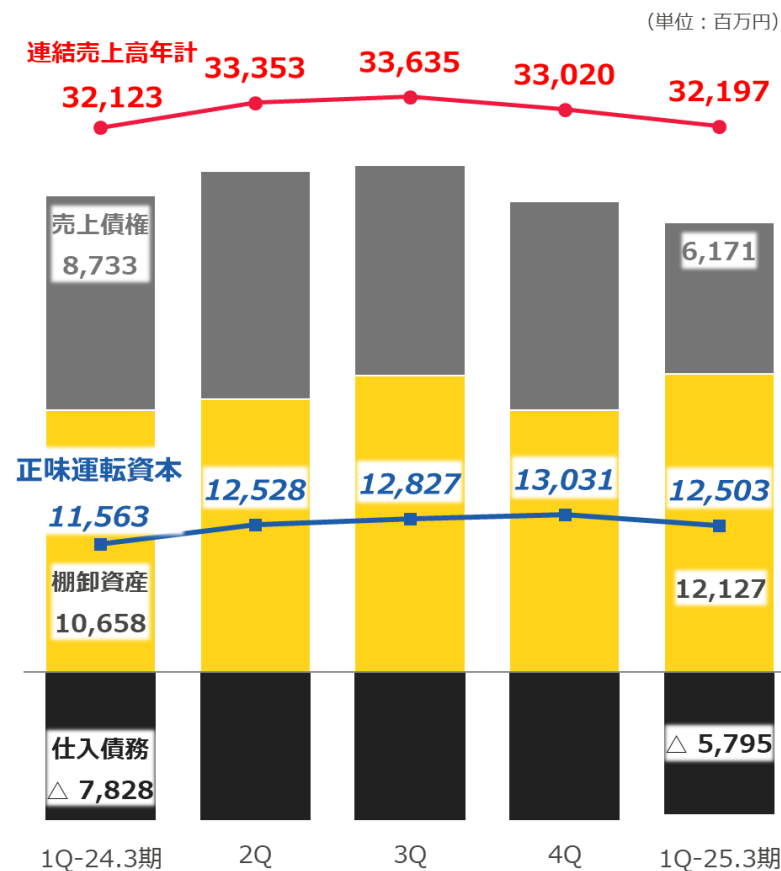


正味運転資本推移（売上債権＋棚卸資産－仕入債務）

- 営業上の投下運転資本は、前年同期比940百万円増の12,503百万円。
結果として、正味運転資本/売上高比率は、前年同期比2.8%増の38.8%。
- 棚卸資産は、建設機械市場の調整期を迎え、前年同期比1,469百万円増の12,127百万円。
結果として、売上高/棚卸資産回転数は、前年比0.36回減（12%減）の2.65回に低下。
在庫水準適正化に向けて調整中。

（単位：百万円）

	2024.3期	2025.3期	前年同期比	
	4-6月実績	4-6月実績	増減額	増減率
連結売上高（年計）	32,123	32,197	74	0.2%
売上債権	8,733	6,171	▲2,562	▲29.3%
棚卸資産	10,658	12,127	1,469	13.8%
仕入債務	▲7,828	▲5,795	2,033	▲26.0%
正味運転資本	11,563	12,503	940	8.1%
棚卸資産回転数	3.01回	2.65回	▲0.36回	
正味運転資本/売上高比率	36.0%	38.8%	2.8%	



連結業績の予想

業績予想の変更はありません

- 国内、北米、アジアで引続き底堅い市場環境が期待されるものの、国内ではコスト上昇と建設と物流の2024年問題によるサプライチェーン全体の構造調整により一時的な足踏み状態が予想される為、売上高を前年同等の33,000百万円に設定。
- 国内では、海外との格差均衡に向けた物価、賃金、金利の上昇が予想されます。世界では、ウクライナ及び中東情勢の緊迫化による世界経済の分断が進んでおり、サプライチェーンリスクと資源・物流コストの高止まりが続くものと予想される為、営業利益を前年比17.7%減の2,730百万円に設定。

(業績予想値の前提となる為替レートは、米ドル140円で換算)

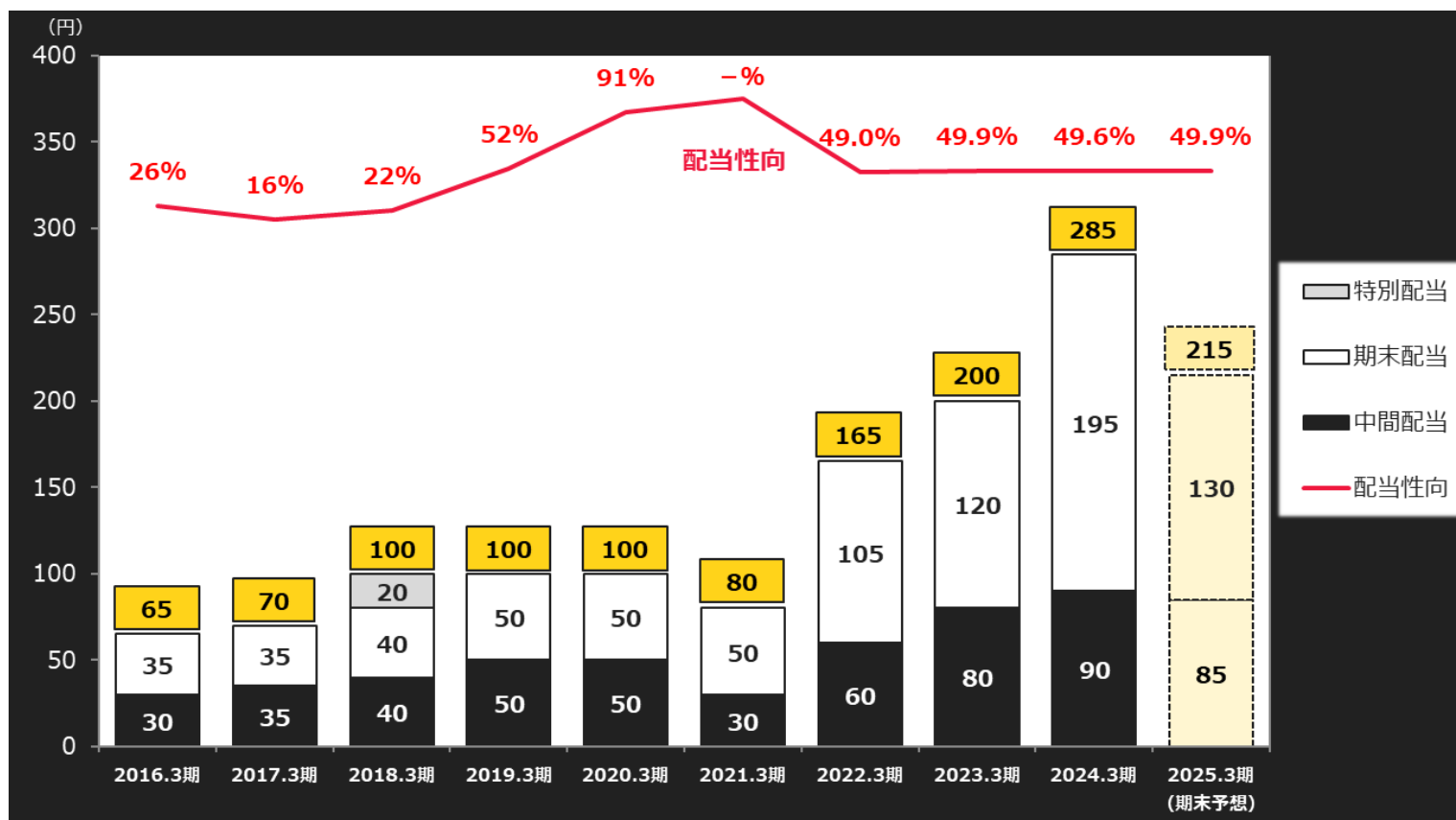
(単位：百万円)

	上期				通期			
	2024.3期 上期実績	2025.3期 上期予想	前年同期比		2024.3期 通期実績	2025.3期 通期予想	前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	16,785	15,500	▲ 1,285	▲7.7%	33,020	33,000	▲ 20	▲0.1%
営業利益	1,966	1,050	▲ 916	▲46.6%	3,318	2,730	▲ 588	▲17.7%
経常利益	2,109	1,050	▲ 1,059	▲50.2%	3,324	2,700	▲ 624	▲18.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,534	700	▲ 834	▲54.4%	2,440	1,830	▲ 610	▲25.0%
1株当たり純利益	361.64円	164.85円	▲196.79円	▲54.4%	574.74円	430.96円	▲143.78円	▲25.0%

配当金の状況

- 2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE 8%を目標として、次の配当方針を掲げております。

ROE 3%を下回る場合：配当性向100%の還元
 ROE 3%～6%の場合：DOE 3%の還元
 ROE 6%を超えた場合：配当性向50%の還元



注) 2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施、併合前についても併合後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

- 前期は中期計画KPIを達成したものの、前期収益構造改善には、価格改定の浸透と輸送費正常化に加え、円安など実力以外の上振れ要因が含まれています。
- 今後は、新たな変化局面においてもPBR1倍を維持する為、ROE8%を継続的に達成可能な収益構造改善を目指します。

(単位：百万円)

	2024.3期 4-6月実績	2025.3期 4-6月実績	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期予想	2026.3期 目標
売上高	7,529	6,706	33,020	33,000	30,000
営業利益	551	449	3,318	2,730	3,100
年換算ROE（自己資本当期純利益率）※1	7.4%	9.4%	9.0%	6.2%	8.0%
自己株式取得	—	—	—	取得累積	
				340 ^{※2}	500 ~ 2,000 ^{※3}

※1 年換算ROEは、対象決算期間に基づき年換算しております。

※2 2024年8月9日現在で実行済みの累積金額です。

※3 2026.3期までの累積目標額です。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社

I R 室 吉川 孝郎

メール sakai.ir@sakainet.co.jp

TEL 03-3434-3401

FAX 03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。